

学校関係者評価報告書(令和2年度)

評価項目	評価(コメント)
基準1 教育理念・目的・育成人材像	<ol style="list-style-type: none"> ① 教育理念・教育目標・行動目標を学生が理解し、これらに基づいた行動ができるよう取り組みをお願いします。新カリキュラムは、臨床実習の達成目標だけをみると、卒後の臨床実践能力の低下が危惧されます。社医学ならではの教育目標に基づいた、現場実践能力の高い人材育成を望みます。 ② 新カリキュラムの導入などお忙しい時期ではありますが、1年次から卒後をイメージした教育体制を持つことで、実践的かつ多面的な視点の持てるセラピスト育成をお願いしたい。 ③ 新カリキュラムは、枠の一新とともに中身の改新が必要であり、教員は大変だと思いますが頑張ってください。 ④ 中長期計画に基づくカリキュラム改定の進捗、新規開設される「基礎力養成講座」の実施に期待します。また、実習目標の設定に関する臨床実習施設の意見聴取や参画についてぜひその実現を期待します。また、P8の「他職種連携」は多くの職種が同じケア目標に向かうという意味で通常「多職種連携」と表記されています。 ⑤ 設立50周年に向けて、伝統を重んじつつ、現代版の教育理念・目的・育成人材像を考えてゆくと良いと思います。 ⑥ 改訂されたカリキュラムの位置づけについて、各学年の到達目標の整備を図るとともに、周知や評価方法を課題としてあげられており、内容の検証も含めて継続的な検討を進められることが記載されていることから、今後の方向性も含めてわかりやすいと思いました。 ⑦ 高校生はまだまだ考えの浅いところがあり、物事を俯瞰的に見るのが難しいかと思っています。知識や技術の習得だけでなく、『社会の中での生活者』をも正しく理解することができるよう、一般常識や社会人基礎力等育てていただくことを望みます。
基準2 学校運営	<ol style="list-style-type: none"> ① 運営が安定していることは素晴らしいと思います。少子化や退学・休学者が増えている傾向があるとのことなので、その対策を更に考える必要があると感じました。特に作業療法学科は、夜学ならではのメリットをさらに打ち出す必要性を感じます。 ② 学校運営に関しては、とても素晴らしいと感じている。時代とともにニーズや学生の状況も変化する中、都度バージョンアップしていただければと思う。 ③ 問題なく運営されていると思います。 ④ 問題はないと思います。 ⑤ 学校法人へも円滑に移行し、学校運営については順調だと思います。就業規則等に関しては、リモートワークに対応したものに変えてゆく必要があります。 ⑥ 45年間円滑に運営されてきた上で、それにより生じた課題を把握し、適切な改善方策を講じられていると思います。 ⑦ 18歳人口の減少はありますが、長年築き上げてこられた揺るぎない信頼感のもと、専門学校としての強みと貴学院の強みを一層強化され、他との差別化をはかっていたいただければと思います。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基準 3 教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学生一人一人への対応がきめ細やかになされてきていると感じました。一方で、手取り足取りの教育を終えた学生が就職した後、直ちに患者・利用者向き合い、責任を持って仕事をすることが求められる臨床現場とのギャップに戸惑いが生じることが、今後の大きな課題になると感じました。学生時代から、卒業生等を招いてキャリアアップの実体験を伝える授業の実施や、学校と職場とが連携して療法士を育成する仕組みを検討・実施していくことも必要だと思いました。 ② 様々な要因により、変化を強いられる状況ではありますが、学生にとっての最善や卒後の臨床での对患者、利用者に対する質や対応能力を重視していただきたい。臨床はオンラインとはいきませんので。 ③ 学生のみならず、指導者の教育も行う義務が出てきており負担が増しますが、よろしくお願いいたします。 ④ 今後、実習指導者研修会へ参加が広がれば、実習教育の場面は大きく変化していくように思われますが、ここ数年のそれぞれの養成校の実習先への対応を見ると、現状では学校間で教育イメージはかなり異なっている様に思われます。都士会等に任せることなく、学院としての教育イメージを積極的に打ち出すべきと考えています。 ⑤ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためのWEB講義をどのように取り入れてゆくか、検討が必要です。 ⑥ 所定の最低基準を上回る教育時間・内容の提供されたうえで「学校教育見直しプロジェクト」も立ち上げるなど教育活動の充実への体制が伺えます。また、コロナ対策へIT班の編成についても、今状況下に対して可能な対策を講じられていると思います。 ⑦ 高校でも、生徒の学力の向上の為に、授業、補習、定期考査、小テスト、宿題、模試と様々なことを行っていますが、自分の好きなことに費やす時間が少なくなってしまうところにジレンマがあります。主体的に学ぶことのできる力を身につけさせることが大切だと感じていますので、「学内教育見直しプロジェクト」に反映させてほしいと思います。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基準 4 学修成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 国家試験合格率の向上を目標に、さまざまな取り組みがなされ、その効果が出ています。学生には国家試験合格後にも、資格所有者としてのスキルアップのために学びが必要となり、学びを継続できる職場選びとなるような指導をお願いします。学生の就業満足度や就職先となる職場の質等についての調査はとても有益だと思えます。 ② 就職率は求人数とのバランスもあり、高値である。国家試験合格率も重視する必要があるが、試験対策として1人1人に合ったやり方を今後も指導していただければと思う。 ③ 国家試験合格率も悪くなく、うまく教育がなされていると思います。 ④ 国家試験の合格率が上昇したことは先生方のご努力の賜物と思われませんが、データを見ると夜間部PTの合格率が過去3年、90%を超えていないことは憂慮すべきと思われる。受験生やその保護者たちにとっては合格率100%という数値はこちらが思う以上にインパクトのある数字です。大変なことであることは重々承知していますが、新卒全国平均はせめて超える必要があるものと考えます。 ⑤ 専門学校という性質上、国家試験の合格率の向上のための努力を続けてゆく必要があります。 ⑥ 昨年危惧されていた国家試験合格率について、全国平均を上回ったことは、改善方策が機能したと言えると思います。引き続き合格率と就職率に高い目標が設定されていて心強く感じました。 ⑦ 国家試験の合格率が回復されたと伺いました。引き続き、合格率100%、希望する就職先への就職率100%に向け、ご尽力いただければと思います。蔵書の数や種類、人骨モデルの所有数も大変すばらしいと思います。活用されることを期待します。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基準 5 学生支援</p>	<p>① メンタル面やハラスメントの対応を各担任だけでなく、別窓口を設け、カウンセラーや医療機関が対応していることはとても良いサポート体制だと思います。臨床実習など学校外での実習の場では学生のストレスも大きくなりやすく、学校に比べサポートも十分にできない可能性があります。実習前には今まで以上に情報交換を実習地と学校間で実施することや、問題発生時の対応方法などを、具体的に共有しておくことが更に必要になると思います。</p> <p>② キャリア支援と共に、日ごろからの学生支援がなされている。定期的な面談や進路相談などを実施することでさらに個々へのフォローが拡充すると考える。</p> <p>③ 相談員自身がストレスを抱え込んでしまうこともあると思います。問題のある学生の対応は、一部の職員や教員に偏らないように配慮してください。</p> <p>④ カウンセラーの存在は非常に大きなことだと思います。学習能力、コミュニケーション能力など多面的な課題を多く抱える最近の学生に対して、学院をあげて真摯に取り組んでおられることは承知しております。かつて働きながら学ぶということが、それぞれに好影響を与えるものと思われていましたが、今日ではそれが逆にマイナスに働くこともあるようです。ある意味では昼間の仕事の継続に関してもある種のサポートが必要な場合もあるようです。それを学院が担うのか。勤務する職場が担うのかはケースバイケースですが、相互に関心を持つシステムができるようになればと考えます。学院独自の経済的支援策など、よく努力されていると思います。</p> <p>⑤ 学生支援はとても充実していると思いますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために環境が一変してしまいました。時代に合わせた支援方法を模索し続ける必要があります。</p> <p>⑥ 就職率についてほぼ 100%であることから、キャリア支援室を中心に、教員の方々が適切な就職指導をされているのかと思います。相談件数が増加し、内容が多岐にわたると対応も困難になると思われますので、相談に対応される教職員の方へのサポートも必要になると考えます。</p> <p>⑦ 医療施設の奨学金制度が充実されていると学生にとっては非常に魅力的だと思います。更に多くの医療施設との連携をとられることを望みます。また、入学した学生が最終的に自立して生活していけるように、相談機能の充実もはかっていただけようお願いします。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基準 6 教育環境</p>	<p>① コロナウイルス感染症の影響で、通学する機会が減っている中、自宅学習が当面必要になると考えられます。安心して学校で授業が受けられる環境作りや Web での授業の充実、文献取得の整備、学生の交流機会の確保、就職対応の充実などが更に必要になると思います。</p> <p>② 日々リハビリ機器も進化しており、病院や施設においても毎年新しい物品が導入されつつある。養成校としても、常に新しい機器、物品にて対応することで、質の高いセラピスト育成が可能と考える。</p> <p>③ 物品は個数が揃っていても、実際には使えなかったり不備があることが多いです。検査器具などは、授業で使用した毎にチェックしたほうが、年に一回全体をチェックするよりも負担が少なく確実かと思います。精神科 OT で、毎プログラム終了時に、患者を返す前に物品をチェックするのと同じようにすれば、大変そうですが逆に楽かと思います。</p> <p>④ おそらく学校法人となったことでのメリットはここにあるのではないのでしょうか。各種助成金を貪欲に取り組むことで、より豊かな教育環境づくりに取り組んでもらいたいと考えています。</p> <p>⑤ 教育環境はとても良いと思いますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために環境が一変してしまいました。時代に合わせた支援方法を模索し続ける必要があります。</p> <p>⑥ 図書・資料の充実と探しやすさは一体的に考慮されるべき悩ましい問題と思われるので、文献検索システムのアナウンスは必要だと思います。</p> <p>⑦ 他の教育機関や公共施設との連携は考えられないのでしょうか。</p>

<p>基準 7 学生 の 募集 と 受 入 れ</p>	<p>① 作業療法学科のアピールを重点的に行う取り組みを実施していることは良い取り組みだと思 います。作業療法は一般的にはあまり知られていないため、高校への説明会のみならず、中 学校などでも学生や先生、保護者向けに説明会をするといいと思いました。大学に比べ学費 が安く、昼間に医療・介護施設で働き、卒業後、実践能力の高い人材を育てられる学校であ ることは、他学校にない大きなメリットになると思います。</p> <p>② まだまだリハビリ職種の知名度は低い。中学、高校などへの広報活動など若い頃からリハビ リ職種を知ってもらう努力は必要。近隣の部活などの支援なども視野に入れて検討してい てほしい。</p> <p>③ 夜学の利点をアピールする方法は、長年の検討で出し尽くされた感はありますが考えないと いけません。私としては夜学の良さは体験してみないと分からないかもしれないと感じてい ます。</p> <p>④ 学校説明会への参加者数の増加、結果、応募者がいずれの学科の応募者の増加はとてもよか ったと思います。その背景がなんであったのかいい意味での分析が必要ではないかと思われ ます。受験セミナー、説明会、体験授業、病院見学などどの部分で増えたのか、どの部分が 受験者増につながったのか知りたいところです。また、多くの高等教育機関が高校生の低学 年へのアプローチを充実させていることを考えると今後の対策としては高校2年生を対象に したプログラムも考えてもよいのではないのでしょうか。</p> <p>⑤ 国家試験の合格率を向上させることが、募集と受入れに好影響をもたらすと思います。景気 後退により資格取得の意欲は強まるはずなので、今がチャンスだと思います。</p> <p>⑥ 授業・職場見学、体験授業、ミニ講座など、学校側は準備等が大変だと思いますが、実際の 様子に触れる機会を設けることは、受験希望者が入学後の自身のイメージが持ちやすくなり 良い取り組みだと考えます。</p> <p>⑦ 高校生の様子をみていると、身近な経験からか、理学療法士を志望する者は一定数いると思 いますが、作業療法士の認知度は低いと感じます。超高齢化社会へと進んでいる中、更に人 材が求められるのであれば、就労条件を向上させるとともに医療職全体の職業の魅力を広く 伝えることは重要であると考えます。</p>
<p>基準 8 財務</p>	<p>① 健全経営がなされていると思います。</p> <p>② 特にはないが、応募者の減少、休学・退学者の増加に対する策を講じなければ収入源が無く なってしまうことから、いかに学生の確保と休学・退学を減らす対策を打ち出していける かだと思う。</p> <p>③ 特に問題ないかと思えます。</p> <p>④ 問題はないと考えます。</p> <p>⑤ 土地を購入しましたが、財務上の問題はありません。財政状態、経営成績ともに良好です。</p> <p>⑥ 問題ないと思えます。</p> <p>⑦ 安定的に収入が確保され、教育活動に必要な経費が保障されているのであれば、問題ないと思 います。</p>
<p>基準 9 法令 等 の 遵 守</p>	<p>① 実習中の SNS を用いた学生間の情報交換、また、対象者データの取り扱いなどについて、修 正したガイドラインを用いて学生に周知し、個人情報保護を徹底して欲しいと思います。</p> <p>② 今後はハラスメントに関する法令が厳しくなることから、職員のさらなる理解が必要。</p> <p>③ 特に問題ないかと思えます。</p> <p>④ 問題はないと考えます。</p> <p>⑤ コンプライアンスには、気を遣っていると思います。リモートワークにより発生する労務問 題に注意が必要です。</p> <p>⑥ ハラスメントについては、対策委員会を設置するなど対策を講じられていますが、相手がそ のように感じたらハラスメントともいわれるご時世ですので、これまで以上に学生に対する 配慮が継続的に必要になってくるのかと思います。</p> <p>⑦ 視野を広げる上でも、教職員の方々に限らず、学生の理解をも深めていただければと思いま す。</p>

<p>基準 10 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>① 教育上の支障がない限りでのボランティアの推奨は是非お願いします。</p> <p>② 地域貢献や社会貢献は就職後も基本ベースとなる。我々のリハビリテーションは地域貢献の1つでもあり、学業と共に重要視すべき項目である。教育の一環として、もっと地域での活動を推奨すべきと考える。</p> <p>③ 夜学の学生は、昼間に対象者と過ごしていることが多いですが、昼間部学生のボランティアは医療人の基盤を作るうえでも必要かと思えます。</p> <p>④ 学校法人になったことで、もっと外に開かれる機会も増えるのではないのでしょうか。小金井市への協力はよいことではありますが、より広い社会貢献、地域貢献が求められているように思われます。</p> <p>⑤ 意識が地域に向いてきており、徐々に地域での存在感も高まっていると思えます。新型コロナウイルスに負けずに、引き続き地域活動への参加を進めていただきたいと思えます。</p> <p>⑥ 市の介護予防事業の根幹の1つである「さくら体操」について、リハ職の会場巡回等の事業の事務局を担っているのみならず、体操会場の提供いただくなど、本市における高齢者福祉増進の部分だけに関しても、貴学の社会・地域貢献度は極めて大きいと感じています。今年度はコロナの状況下ではあるものの、地域のリハの先生方と協力し在宅でできる体操を作成するなど、可能な範囲でできることへのご協力を頂いています。今後も引き続き、教育・学習環境に影響のない範囲でご協力を頂きたいと思えます。</p> <p>⑦ 地域や社会との連携は高校でも求められています。探究活動や部活動等でのご支援も期待するところです。学生が自ら進んで、地域や社会に貢献していこうとする芽を育てることのできるような支援、しかけもご検討いただければと思えます。</p>
-------------------------------------	---

<p>その 他の ご 意見</p>	<p>② 就職先としても、新人教育には多大なる労力と時間が必要であり、教育機関としても同等であると存じます。知識・技術はもちろんですが、それらは就職後も学べる事項であり、根本の人間性を豊かにすることを教育機関としてもう少し取り入れていただきたいと思っております。</p> <p>④ コロナ禍の中、先生方のご苦勞も大きなものがあると考えます。学生のみならず、教職員の心身のご健康に配慮され、今後のご発展をお祈りいたします。</p>
-------------------------------	--

専門学校 社会医学技術学院